

# 同窓 会報

ICHINOMIYA NISHI



愛知県立  
一宮西高等学校

## 第33号

2018年7月17日発行

発行：一宮西高校同窓会事務局  
一宮市萩原町串作字河田1番地 〒491-0376  
TEL (0586) 68-1191 FAX (0586) 69-0196  
E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp





## 平成30年度 同窓会総会のお知らせ

(全日制第13回生・第33回生学年同窓会 同時開催)

**日時** 8月4日(土) 午後5時より  
**場所** 尾張一宮駅前ビル(iービル) 7Fシビックホール  
**会費** 5,000円(学生は3,000円)

- ※出欠は同封のハガキ、または  
 E-mail [dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp](mailto:dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp) で  
 お知らせください。その他のお便りもE-mailでどうぞ。
- ※来年度は、第14回生・第34回生(昭和55年卒・平成12年  
 卒)の学年同窓会を計画しております。
- ※西高ホームページ  
<http://www.ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp/>  
 も参考にして下さい。  
 HPの中にも、同窓会のE-mailアドレスが記されています。



## いまもむかしも

同窓会副会長 鵜飼 俊光

暑中お見舞い申し上げます。同窓会会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

皆様はいかがお過ごしでしょうか?私事で恐縮ですが、西高を卒業して四十三年という月日が経ちました。一昨年に還暦を迎え、昨年孫にも恵まれ、人生の短さを感じる日々を過ごしています。遠のいてしまった輝かしく眩しかった青春時代を懐かしみながら、今もって楽しかった西高高校生時代の三年間を誇りに感じます。自然の摂理、気持ちとは裏腹に身体は老いて行きますが、気持ちはあの頃負けじと中年時代を謳歌するために日夜頑張っています。

さて、西高同窓会会員も一万九千名を越え、この同窓会報の発送も多大になって来ました。同窓会の負担が大きくなりつつあり、役員会でも今後の発送について検討を進めているところです。皆様におかれまして何卒ご理解賜りますよう、役員会を代表してお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様には同窓会活動に、今後ともより一層のご指導、ご協力をお願いすると共に、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。



## 昨年度の総会報告

平成二十九年度の総会は、昨年八月五日（土）午後五時より、尾張一宮駅前ビル七階シビックホールで行われました。

十二回生・三十二回生を中心として、総勢百七名の方々に参加していただきました。ご多忙にもかかわらず、歴代の校長先生をはじめ、懐かしい旧正副担任の先生方、現職員の先生方にもご出席いただきました。

総会では、平成二十八年度の事業報告・会計報告、役員改選、平成二十九年度の事業計画・予算案の審議、同窓会会則の一部変更と、滞りなく議事を進めることができました。総会でもご報告させていただいたように、同窓会費及び同窓会報郵送料カンパでは多くの方にご協力いただき、重ねてお礼申し上げます。

懇親会は、学年同窓会を担当した十二回生・三十二回生に新会員の五十一回生を加え、若々しい雰囲気の中で盛り上がりました。各テーブルでは、昔話に花が咲き、時が経つのも忘れて旧交を温めることができました。懇親会を締めくくる校歌斉唱も恒例になり、名残りが尽きないままお開きとなりました。

本年度は十三回生と三十三回生の学年同窓会を開催さ

せていただきます。多数の方が参加していただければと考えております。なお、担当学年にかかわらず、クラス会や部活動のOB会の場としても同窓会総会を大いに活用していただけたら幸いです。

今年度の総会に、是非皆様お誘い合わせの上、気軽に参加していただきますようお願い申し上げます。





## 西高生とともに、さらなる高みを目指して

校長 北山 ゆり

陽射しもまぶしく、いよいよ夏本番を迎えようとしています。同窓会の皆さまには、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この春の定期人事異動で、校長として、赴任いたしました。内示を受けてから、西高の伝統と積み重ねられてきた実績に思いを致し、責務の重さに身が引き締まる思いでした。

4月2日、かなり緊張して正門をくぐった記憶があります。それでも、美しく咲き誇る桜が出迎えてくれ、登校する生徒たちが、とまどいながらも挨拶してくれた「おはようございます」に、心なしか肩の力が抜けたように感じました。

私事で恐縮ですが、尾中（宮市）地区の高校で教員生活をスタートし、最後の締めくくりに再び二宮に戻ってくることでできました。若かりし頃の保護者という立場で再会し

た方もみえ、早速、励ましの言葉をいただき、縁というものを感じています。

高校生だった頃、すでに西高は尾張の教育の雄として燦然たる実績を残し、地域からも絶大な信頼を得ていました。それでも、同窓生の方から、ひたすらグラウンドの石拾いをしたという思い出や校門の見事な桜のいわれなどを伺い、同窓生の皆さま、教職員、保護者や地域の皆さま方が、ひとつひとつ築いてこられたのだなあと、歴史の重みをかみしめています。

21世紀、社会の変化はめまぐるしく、学校教育の場でも、常に何かを求められ、追われている気ぜわしさがあります。人間の成長の過程で、未知の可能性に向けてさまざまな種を蒔き、生徒とともに我々も進歩していくという、教育の醍醐味を感じる機会も少なくなっているのではないかと危惧しています。しかし、3年生が学校祭のリーダーを務める高校が、今、県内に何校残っているでしょうか。教育目標に「自由」を掲げている学校がどれくらいあるでしょうか。

西高のスクールモットー「自由で明るくー規律と責任ー」

には、私の好きなことば「自由闊達」と「気概」が含まれていると解釈しています。西高生が、西高での学びを通して「自由闊達」な精神と聡明さをもち、節度ある言動と将来社会を担う「気概」ある若者に成長するーこの濃密な時間を共有できることは、なんと幸せなことでしょう。

本年度から、あいちスパーイングリッシュ・ハブスクールの指定を受けている本校は、国際部（分掌）を新設し、2年生の国際理解コースをスタートさせました。さまざまな分野で、国際的に活躍する人材の育成に取り組んでいます。生徒たちが、少しずつ、自分の殻を破って可能性を広げていくことを期待しています。まだ始まったばかりですが、西高だからこそ学べる国際理解教育を目指したいと考えています。

教職員一同、精一杯務めてまいりますので、同窓生の皆様方には、今後ともご指導、ご支援のほどよろしく願っています。



## 転職しました

前校長 井中 宏史

3年間お世話になりました。3月30日、退職校長が辞令をもらうために県庁に集められました。辞令交付式が終わって控室へ戻った時、先生方そして生徒たちに恵まれた6年間だったとしみじみと思いましたが、改めて感謝する次第です。

さて、4月から名城大学に勤めています。ちょうど1年ほど前、「ああ、今年で退職か、何かいい仕事はないかなあ」と思っていたところ、名城大学が教員を募集（公募）していることを知りました。教職センターで、理科教員志望の学生（農学部・理工学部）に教職課程の授業をする仕事です。条件は「専門が生物・教職経験がある・大学院（修士）を出ていること、採用後は教授か準教授か講師かは未定」でした。何と、私のために作ったような条件ではありませんか。早速応募することになりました。応募者は全国から集まったものと思います。書類審査が通り、9月に面接試験があるとの連絡を受

けました。面接の日は、パワーリフティングのマスターズの全国大会が明石市で行われる日で、私も選手登録していましたが仕方がありません。面接後明石市の会場へ急行し、メダルを獲得した愛知の仲間との祝杯に合流しました。全国大会では私も優勝が懸かっていたのですが、就職のほうが大切です。そして後日、見事合格・採用となったわけです。

名城大学は、理科、数学はもちろん、地歴・公民（中学は社会）、英語、情報、農業、工業、商業の免許を取得することができます。教職センターには8名の専任教授・準教授がいます。私のほか2名が高等学校や教育委員会から現職で転職、5名は教育学や心理学、物理学などの専門家です。新任の私が最年長なのですが、いろいろと教えていただいて、何とかやっています。免許更新講習も担当しますので、高校生の皆さんはもちろん、教員の皆さんもお待ちしています。

## 西高で勤務して

前教頭 人見 浩司

平成23年度から7年間教頭としてお世話になりました。その間、創立50周年事業、耐震改修、第二体育館の取り壊しなどいくつかの学校の節目を経験できました。

私の中で印象に残っていることを少し綴ってみました。

ちょうど第二体育館を取り壊しているときに本校の定時制を卒業された十名ほどの初老の女性（恩師の先生も一緒にでした）が校内の見学に見えました。北館が定時制の教室、正門付近はバスの発着場、第二体育館で体育の授業をしていたそうです。15歳のとき、集団就職で愛知県に来て、働きながら通っていたとその当時を思い出しながら涙ぐむ方も見え、大変印象に残っています。この方々も精一杯の高校生を送り、西高を誇りに思っている卒業生であり、西高の伝統を作った人達だと改めて感じました。

次に創立50周年事業の準備等をやらせて頂いたことで歴代の校長先生方始め、西高で



勤務された多くの先生方、卒業生の方と出会えたことです。準備段階ではその当時総務主任の大崎先生と遅くまで残って準備をしていたことを思い出します。また、山内進前会長様、宮田浩二会長様始め、同窓会の役員、会員の皆様には大変お世話になりました。地域の中心校である西高の良き伝統が守られ、新しい風が少しは通って前進したでしょうか。多大なるご支援を頂いたことを感謝申し上げます。

最後に西高生の皆さん、世の中はAI化が進み、社会における人の役割が変化しようとしています。これから社会で求められる力は知識や教養があるのももちろん、広い視野でバランスよく物事を俯瞰することのできる人間力だと思います。人間力を養うためには失敗や成功を繰り返す体験が不可欠だと思います。多くのひととの関わり、読書、現実世界での実体験など人間としての総合力を磨くことが大切です。西高は、勉強・学校行事・部活動の3兎を追って教育活動をおこなっている素晴らしい学校です。人間力を付ける実体験のできるステージがたくさん用意されています。

これからも自らを厳しい環境におきながら将来の礎となる高校生活を送っていただき、さすが西高生と言われるよう努めてもらいたいと思います。この学校で勤務できたことは私の教員人生の財産になります。ありがとうございます。た。

## 東京支部会の報告

15回生 遠藤 和彦

2017年度の二宮西高校同窓会東京支部会は、11月25日（土）に東京、新宿にて開かれました。本校からは川瀬先生と私が出席し、30名ほどの方に参加していただきました。

新宿西口交番前の「西高の校章」の下に集い、1次会の会場へと向かいました。西高時代の懐かしい話や、近況報告で盛り上がり、あつという間の2時間でした。会場を移しての2次会も、大変盛り上がったものとなりました。幅広い年齢層の方が集まり、情報交換にも花が咲きました。東京を受験する在校生にも、この「東京支部会」の宣伝をたまにしており、近い将来もっと若い参加者が増えることを期待

待しております。これからも関東圏在住、または東京に立ち寄りられる皆様のご参加で東京支部会を盛り上げていただきたいと思います。



## The Course of Global Studies ... The beginning!

国際部主任  
小川 敬子

この4月、いよいよ国際理解コースが2年生からスタートしました。一期生37名の生徒は、勇気と希望を持ってこのコース



を選択し、目を輝かせてコース独自の授業、行事に取り組んでいます。

コース独自の科目としては、国際英語（英語）、比較言語文化（国語）、世界の思想と文化（地歴公民）の3つが設けられています。どの科目も普通コースとは異なった教材を用いて、生徒たちがより主体的に考え、深めていけるような工夫がなされています。生徒たちにとってみれば、これまでは異なったアプローチを求められることも多く、時には対応に苦しんでもいますが、教員たちも「ハードワークの向こうにある学ぶ喜び」を味わってもらいたいと日々試行錯誤中です。

また、普通コースの修学旅行中には、コース行事として「名古屋大学スタディツアー」を行いました。名古屋大学のGSID（国際開発研究科）という研究科の大学院生さんたちによるEJIC（国際理解教育プログラム）にお世話になり、6グループに別れ、それぞれ3人ずつの留学生と英語でディスカッションを試みました。各グループには日本人院生が適宜通訳としてつきましました。なんとかコミュニケーション

ンができたと手応えを持つ者から、受け身になってしまっただけの悔しかった者、ただただ大学の大きさに衝撃を受けた者など、生徒たちは様々な感想を述べております。また、このような機会がなければ出会うこともなかった国の人々に直接話を聞き、日本と日本人しか知らなかった自分に気がついたという生徒もおり、手応えを感じています。学校に戻ってからは、ディスカッションの様子をポスターにまとめ、そのポスターは「宮市役所が7月25日に開催する「グローバルサマーセミナー」で掲示されます。

今後、10月の台湾修学旅行を経て、3月には第1回目のオーストラリア研修が行われます。国際英語の時間にスカイプセッションの相手となるKirwan State High Schoolに希望者が訪問し、授業に参加したりホームステイを行ったりする予定です。生徒はこの二年で大いに成長していくでしょう。またその姿を見て、次の後輩たちが国際理解コースを志望してくることでしょう。このコースを選んだ生徒たちが「選んでよかった」と思えるようなコースをさらに作り上げていきたいと思っています。



### 同窓会費納入及び協力金のお礼

昨年度も例年通り同窓会費（年間二千円）の納入をお願いしましたところ、二百五十四名の方から会費をいただくことが出来ました。同時にお願いしました協力金とあわせて、六十九万円あまりをいただくことが出来ました。ご協力ありがとうございました。今年度も、年会費二千円とは別に、一口千円を協力金としてお願いしたいと存じます。同封の振込用紙をご利用の上、郵便局からお振込ください。よろしくお願いいたします。

# 学園だより

## 平成三十年度 高校総合体育大会の結果

◇競技別  
団体ベスト8相当以上及び、  
県大会出場について掲載  
ゴシック体は上位大会出場

### 【陸上競技】

《全日本輪島競歩大会》

第2位 3000m 川嶋友稀  
(男子)

第3位 3000m 丹羽翔子  
(女子)

第27位 5000m 神谷さくら  
(女子)

《高校総体尾張支部予選》

総合6位 県大会個人8名  
(男子)

総合5位 県大会個人8名  
(女子)

【男子ソフトテニス】  
ベスト16 個人 鵜飼・松山

第5位 団体 《県大会出場》

【女子剣道】  
3位 団体 《県大会出場》

【男子剣道】  
3位 団体 《県大会出場》

5位 個人 北川遼  
《県大会出場》

【女子ハンド】  
第4位 《県大会出場》

【女子弓道】  
5位 団体 《県大会出場》

4位 個人 黒田千尋  
《県大会出場》

【男子弓道】  
個人 梅村 永 《県大会出場》

【男子卓球】  
5位 団体

準優勝 個人シングルス 野牧大悟  
17位 山瀬雄大

準優勝 ダブルス 山瀬・野牧  
《以上 県大会出場》

【女子卓球】  
ベスト16 個人シングルス 澤井美歩

【女子ハンドボール】  
4位 《県大会出場》

【女子バドミントン】  
ベスト16 ダブルス 服部・野々部  
ベスト8 シングルス 服部愛美  
《県大会出場》

【男子テニス】  
ブロック準優勝 個人シングルス 森 大河

【野球】  
《春期尾張地区大会》  
尾張地区5位 《県大会出場》

【サッカー】  
尾張地区5位 《県大会出場》

【ラグビー】  
《7人制ラグビー大会》  
優勝 《県大会出場》

【新体操】  
第5位 《県大会出場》

## 部の合宿

【サッカー部】  
石川県小松市  
八月一日～八月三日

【ラグビー部】  
長野県上田市  
八月六日～八月八日

【女子ハンドボール部】  
長野県佐久市  
八月七日～八月八日

## 同窓会年度幹事

第五十二回生  
常任幹事 野洲 大我

年度幹事  
一組 落合 正典・祖父江佑香  
二組 本田 駿・榎田 もも  
三組 勝又 唯・森 惲  
四組 今枝 大地・大橋未千佳  
五組 赤崎 史弥・五藤望奈恵  
六組 河村 祥成・光崎 智子  
七組 野洲 大我・赤塚 郁咲  
八組 加藤 大翔・国立 真由  
九組 柴垣 太郎・箕田小歩乃

## 職員の異動

平成三十年度  
◇転出者 (敬称略)  
校長 井中 宏史 (退職)  
教頭 人見 浩司 (美和校長)

教諭  
国語 片桐恵理子 (一宮南)  
保体 田舎片一司 (城北つばさ)

英語 今西 美香 (春日井工業)  
再任用教諭

## 昨年度の 同窓会活動報告

一、同窓会総会の開催  
平成二十九年八月五日(土)尾張一宮駅前ビル七階シビックホールで開催。旧・現職員、一般会員合わせて百七名の参加をいただきました。

二、「同窓会報」第三十二号の発行  
平成二十九年七月七日に発行いたしました。

三、同窓会郵送料カンパの実施  
今年度も別記のとおり実施いたしますので、ご協力よろしくお願いたします。

四、東京支部会の開催  
平成二十九年十一月二十五日(土)新宿にて開催。西高からは、同窓生でもある川瀬・遠藤先生が出席され、合わせて三十名ほどの参加がありました。

五、同窓会入会式および卒業記念品贈呈式  
平成三十年二月二十八日(水)に実施され、同窓会からは鵜飼俊光副会長が出席しました。第五十二回生三百五十六名が同窓会に入会し、一般会員総数は一九、百三十三名になりました。また、卒業生には、卒業記念品として、証書筒を贈呈しました。

六、国際理解コースの支援  
今年度からスタートした国際理解コースの活動に対して、支援をしております。

## 大学合格者数一覧

(平成三十年度入試)

北海道大	1	名古屋工業大	35	東京理科大	10
東京海洋大	2	名古屋大	19	早稲田大	1
筑波大	1	三重大	15	愛知大	85
千葉大	1	滋賀大	9	知徳大	89
横浜国大	2	京都大	2	金城大	33
富山大	2	大阪大	2	山学大	40
金沢大	2	神戸大	1	中京大	69
福井大	1	広島大	1	南山大	136
信州大	1	愛知県立大	19	藤田保健衛生大	33
岐阜大	32	名古屋大	19	名城大	108
静岡大	6	岐阜大	3	同志社大	29
愛知教育大	19	国公立大合計	214	立命館大	27